

17日は勝手ながら欠席させていただきますが、以下の通りコメントをお送りいたしますので、ご査収くださいますようお願い申し上げます。

討議資料（1）

論点①「世界の金融・経済情勢が大きく変化する中において、会計基準のあり方を議論するに際して、留意すべきことは何か」

「監査人」「利用者」「作成者」などの部分最適にとどまらず、IFRS へどのように対応したら日本の国益に資するのかを大きな視点から議論していただきたい。

アナリストとしての立場から申し上げますと、仮に企業間の比較可能性が高まっても企業、産業の競争力が低下しては意味がないと考える。ただ、IFRS を導入すれば、企業間の比較可能性が高まるという見方にはやや懐疑的である。IFRS の原則主義、「概念」先行、解釈指針も限定的という現状を見ると、かえって比較が難しくなるのではないかと懸念している。

討議資料（2）

論点④ 単体と連結の関係について

仮に連結ベースの財務報告を IFRS で行うと、財務諸表作成者は、単体の業績管理でも IFRS を意識せざるをえなくなる。二重管理をミニマイズして効率性を確保するため、税制面での柔軟な対応についても検討いただきたい。